



国内シェアトップの座を 長年維持する秘訣

鋼板巻取機および巻取り芯の製造で国内シェアトップ（80％）の座を誇り、北九州市若松区に立地する株式会社植田製作所。その背景には社員教育にフォーカスした職場環境がありました。

株式会社植田製作所

オンリーワン企業を目指して

四代目代表取締役社長である濱小路さんは、『オンリーワン企業』を今後の目標として掲げており、製品のブランド力の構築を心掛けていらっしゃいます。そのために、独自技術の継承と品質向上の2点を重要視されています。まず、技術伝承については、作業における5S活動の徹底と自発的な改善提案の採用に努められています。5Sとは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけといった5つの活動です。この活動により、より快適な職場環境が形成されます。さらに、卓越した技能を持つ熟練工と若手社員が同じ班となって作業をする教育体制が確立されています。こうして、技術伝承が出来る職場作りを実現しています。次に、品質向上に向けて、作業の安全性と能率アップのために社員独自立案・製作された治具や工具のアイデアを積極的に採用しています。実際に、従業員独自で企画・提案し採用されたアイデアは北九州マイスターなどに、多々表彰実績があります。以上のような点に



代表取締役社長
濱小路 兼生さん

製造業の知識がない場合でも

植田製作所の更なる魅力は、従業員教育に注力されている点です。製造業の知識が無い場合でも、1〜2年程度で一人前の技術を習得することができます。それは、前記した熟練工と若手社員が同じ班で作業するというように、技術を伝承する教育体制が確立されているからです。また、従業員間の関係も良好で、代表取締役社長の濱小路さんは「居心地の良い職場」という社員の声を多々耳にされるそうです。その良好な関係の裏には、社内旅行やイベント実施を会社側で企画・運営し、「コミュニケーション」の機会を積極的に設けていることが要因として挙げられます。こうした適正な従業員教育環境と良好な職場環境が維持されているため、製造業の知識がない未経験者にとっても安心して仕事に就事できる環境整備がなされています。

機械だけではない

製品を製造する過程において、もちろん充実した機械設備も重要な役割を担っているのですが、それ以上に重視されているのが熟練工の腕です。左掲の写真は、完成品の重要な部品になる歯車です。この歯車はのちに熟練工の腕によって磨かれていきます。こういった人の技術力が、設計から組み立てに至る複雑な工程の中で必要とされる場面が多々見受けられます。機械だけではなく人の力でしかできない仕事をすることは、従業員にとって自分の力の成長を直に感じられるため、個々のキャリア形成に活かされています。

工場見学も

最近では、観光会社が企画する北九州のモノづくりを紹介するバスツアーの場所として、植田製作所も選ばれています。また、以前に小学校の教科書に掲載されました。ここから、いかに植田製作所の製品・従業員・教育制度・職場環境が高い社外評価を得ているかが伺えます。ツアーではなく、植田製作所に直接連絡を取ることで工場見学も可能だそうです。少しでも興味があれば、心が動かされたりした方は、一度見学に足を運んでいただきたいです。

こうした工場見学のように、学生が一步踏み出すきっかけは身近に沢山あります。普段より少し視野を広げてみて、今まで知らなかった新たな発見を探しに行ってみてはいかがでしょうか。

インタビューを終えて



(左) 北九州市立大学 経済学部1年 木下 沙彩

自分の周りは植田製作所様のように、素敵で面白いことに溢れていると改めて感じました。この記事が、読まれた方にとって何かのきっかけに繋がれば幸いです。

(中) 北九州市立大学 法学部2年 鈴木 麻美

今回の取材でお話を伺うだけでなく、工場見学もさせていただき、どの部署でも作業される方々の姿から温かさが伝わってきました。その雰囲気がこの記事を通して伝わればいいなと思います。

(右) 北九州市立大学 文学部3年 尾崎 千穂里

代表取締役社長の濱小路様の製品と社員の皆様に対する深い愛情や、誇りを持って働いている姿を拝見し、より多くの人々に植田製作所様を知っていただきたいと思いました。

企業概要

株式会社植田製作所

- ・設立 / 1946年
- ・従業員数 / 85名 (2016年8月17日現在)
- ・業種、事業内容 / 一般機械器具製造業及び加工業、鉄板等巻取り・巻出し機等の設計製作
- ・本社所在地 / 〒808-0027 北九州市若松区北湊町4番1号
- ・TEL / 093-761-1431
- ・ホームページ / <http://www.ued-mfg.co.jp/>



熟練工により磨かれた大型歯車